

# ネットワーク事務局の活動報告



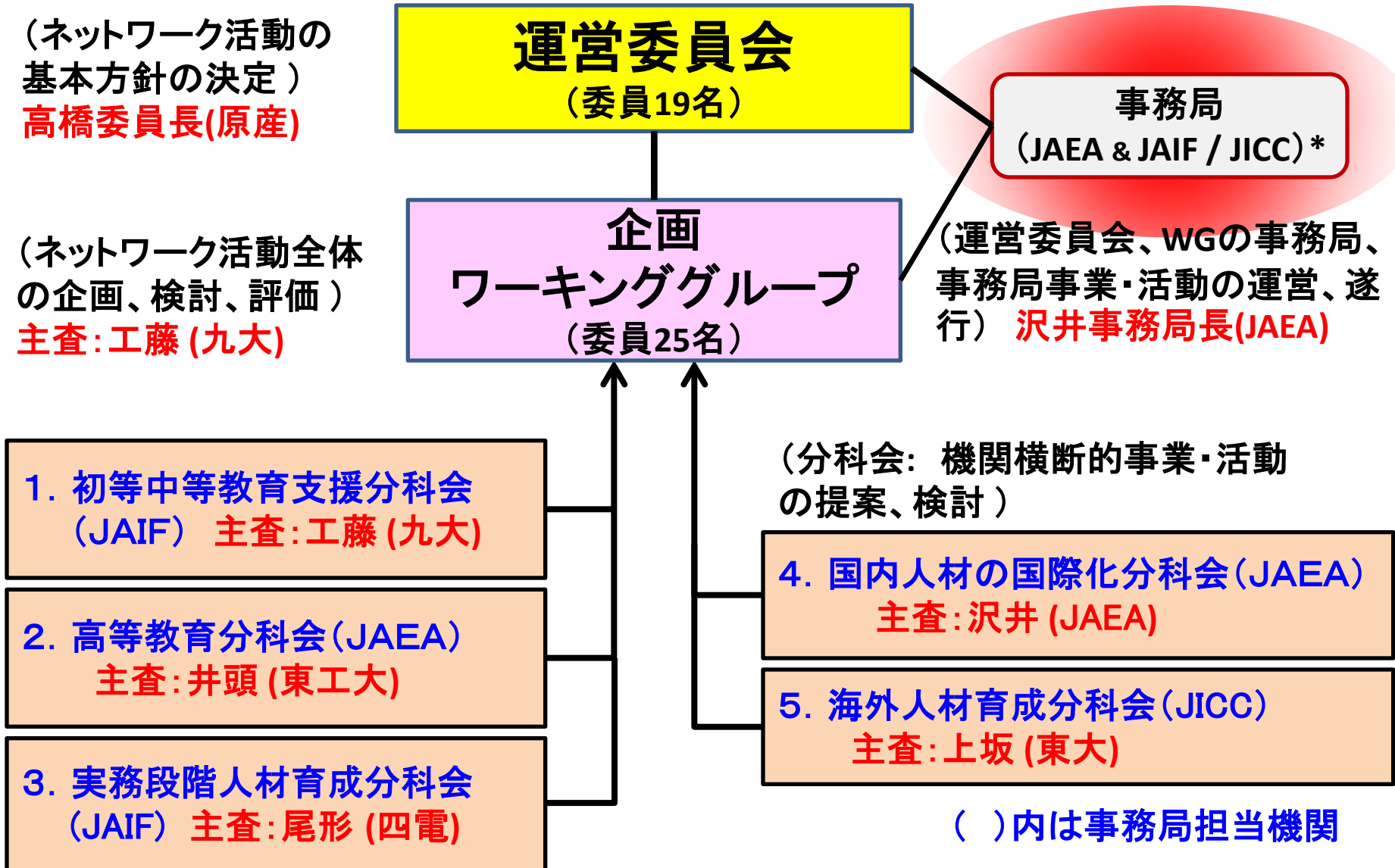
## 原子力人材育成ネットワーク事務局

(国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 原子力人材育成センター)

(一般社団法人 日本原子力産業協会)

(一般財団法人 原子力国際協力センター)

# 組織体制



\* JAEA: 日本原子力研究開発機構

JAIF: 日本原子力産業協会

JICC: 原子力国際協力センター 2

## 1. ネットワーク会合の開催・運営

服部前運営委員長の後任に、本年第1回の運営委員会で高橋明男氏を選出

## 2. ネットワークの窓口としての機能、問い合わせ・相談対応

IAEA 技術研修員受け入れ窓口 等 ⇨ 午後の外務省のご発表

## 3. 周知・広報活動及び参加機関拡大に向けた活動

今年度は、新たに「国際廃炉研究開発機構IRID」がネットワークに参加した

## 4. 国際協力、国際ネットワーク構築を目指した連携協力

IAEA 人材育成担当NKM section head John de Grosbois 氏来訪

韓国国際原子力財団(KONICOF)来訪 ⇨ 午後のセッションにご参加

## 5. 個別人材育成活動推進、関係機関との連携協力

JAPAN-IAEA 原子力エネルギーマネジメントスクールを開催

原子力国際人材養成コース開催 ⇨ 詳細は、次セッションの発表で

## 6. 今後の人材育成活動およびネットワークのあり方の検討

# 1. ネットワーク会合の開催・運営

| 会合名称  |             | 開催回数<br>(H27年度) |
|---|-------------|-----------------|
| ネットワーク運営委員会 ★   |             | 2回              |
| ネットワーク企画WG  |             | 3回              |
| 分科会   | 高等教育分科会     | 3回              |
|   | 国内人材国際化分科会  | 3回              |
|   | 初等中等教育支援分科会 | 3回              |
|   | 実務段階人材育成分科会 | 4回              |
|   | 海外人材育成分科会   | 3回              |
| その他の会合(個別活動毎の準備会合など含む)<br>(事務局会合、原子力マネジメントスクール実行委員会、報告会等) ★ |             | 20回程度           |
| 計   |             | 約40回            |

- ★ 服部運営委員長の後任に、本年第1回の運営委員会で高橋明男氏を選出
- ★ 今年度の報告会は、後半に国際セッションを開催

## 2. ネットワークの窓口として

事務局  
(JAEA & JAIF / JICC)\*

- 参加機関からの問い合わせ、広報依頼等に対する対応。
- 取材対応
- IAEA技術研修員受け入れ窓口
  - ⇒ 午後の外務省のご発表
- 国の委員会等への報告

事務局長が上坂主査とともに原子力委員会に「JAPAN-IAEA 原子力エネルギーマネジメントスクール」の開催結果について報告。

事務局長が文科省の原子力科学技術委員会・人材育成作業部会でネットワークについて説明。

# 3. 周知・広報、参加機関拡大に向けて



The screenshot shows the homepage of the Nuclear Human Resource Development Network (JN-HRD.NET). The header includes the logo, the text '産学官連携 原子力人材育成ネットワーク' (Academia-Industry-Government Cooperation Nuclear Human Resource Development Network), and navigation options like 'お問い合わせ' (Contact Us), '文字の大きさ' (Text Size), and 'サイト内検索' (Site Search). A main banner features a photo of a meeting with the text: '原子力人材育成ネットワークでは、国内外の原子力関連機関の相互協力や人材育成活動の実施を支援しています。' (The Nuclear Human Resource Development Network supports mutual cooperation between nuclear-related organizations worldwide and the implementation of human resource development activities). Below the banner is a 'お知らせ' (Notice) section with several entries from 2015 and 2016, and a right-hand sidebar with buttons for '研修・施設・講師検索' (Search for Training, Facilities, and Instructors), 'ネットワーク活動近況報告' (Network Activity Status Report), 'ネットワーク活動予定表' (Network Activity Schedule), 'GUIDANCE 国連機関応募の勧め' (Guidance: Encouragement to Apply to UN Organizations), and 'ネットワーク活動紹介' (Network Activity Introduction).

## 各種情報収集・発信

- HPの維持(国内関係機関からのイベント情報、募集依頼、人材育成情報データベース[研修、施設、講師]のアップデート)
- パンフレット作成、ニュースレター配信(日・英)[四半期毎]など

今年度は、新たに「国際廃炉研究開発機構IRID」がネットワークに参加した

## 4. 国際ネットワーク構築を目指して

IAEA 人材育成担当NKM section head, John de Grosbois 氏来訪

- IAEAは、日本の原子力人材育成ネットワークを高く評価し、このような活動を参加国に広めていきたいとの趣旨で、協力要請があった。
- 今年11月7-11日にウィーンで開催するNuclear Knowledge Management Conf. について説明、協力要請を受けた。
- 来年度の「JAPAN-IAEA 原子力エネルギーマネジメントスクール」の開催について、打合せ、講師派遣等について協力を要請した。

韓国国際原子力財団(KONICOF)来訪



午後のセッションにご参加

標記の趣旨に従って、今年度の報告会は、後半に国際セッションを開催、IAEA、韓国、トルコ、マレーシアによる原子力人材育成に関する報告をプログラム。

## 5. 個別人材育成活動推進 等



JAPAN-IAEA 原子力エネルギーマネジメントスクール  
(2015.6.1 東大弥生講堂アネックス前)

参加国: 日本、バングラデシュ、中国、チェコ、インドネシア、カザフスタン、リトアニア、マレーシア、ポーランド、サウジアラビア、タイ、トルコ、ベトナム、エジプト

- JAPAN-IAEA 原子力エネルギーマネジメントスクールを開催
- 原子力国際人材養成コース開催を開催

⇒ 詳細は、次セッションの発表で



## 6. 今後のあり方の検討

- 初期5年で、産官学が一堂に会して議論できる場の構築には成功。
  - ロードマップ策定。今後の活動は、このRM上に位置づけつつ。
- 一方、
- 例えば、現在問題となっている大型研究施設(研究炉等)については、その優先順位付けなどにネットワークでの議論を期待する意見も聞かれた。(情報の共有から**議論**へ)
  - これまでの活動状況から、今後更に**議論**の深化が期待される項目の例としては、さらに下記のような項目が挙げられよう。
    - 上記、**大型研究施設**のニーズについての議論(シミュレータ等との比較も含め)
    - 育成すべき人材の多様性とその育成手段の多様性
    - その中で特に、**標準カリキュラム**や**CPD**に関する議論。